



つき 月で、ウサギがもちをついているってほんとう

月の黒く見える部分の形が、ウサギのもちつきに似ている

まんげつ
満月のときの月は、丸くて全体が光っていますが、月をよく見ると、黒く（暗く）見える部分があります。

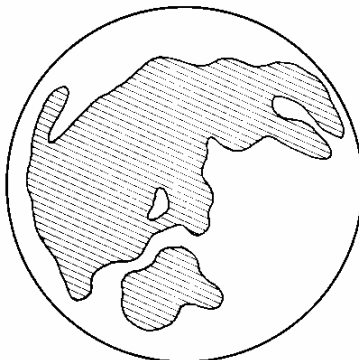
むかし
昔の日本人は、月の黒く見える部分の形を、ウサギがもちをついているような形に見たので、ウサギが月でもちをついている、と思ったのです。

つき
月には、地球のような空気がなく、生き物はすんでいません。まして、ウサギが、もちをつくようなことはないのです。

ほかの国では、見方がちがう

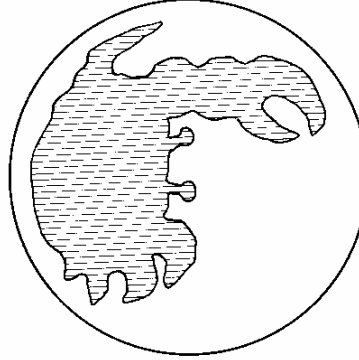
つき
月の黒く見える部分の形は、所によって、見方がちがいます。ドイツでは、しばを背負ったおじいさん、アメリカでは、女の人の横顔に見えるといわれています。また、ヨーロッパでは、カニの形に見ている国もあります。（監修・国司 真）

日本



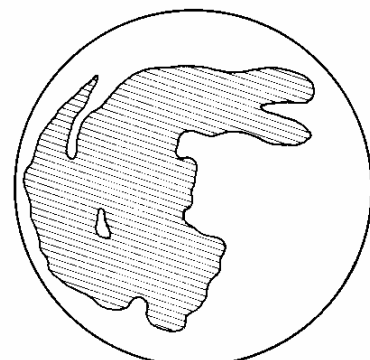
もちをつくウサギ

ヨーロッパ



カニ

ドイツ

しばを背負った
おじいさん